

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2003-506368

(P2003-506368A)

(43) 公表日 平成15年2月18日 (2003.2.18)

| (51) Int.Cl. <sup>7</sup>          | 識別記号 | F I             | テマート* (参考)  |
|------------------------------------|------|-----------------|-------------|
| C 0 7 D 231/20                     |      | C 0 7 D 231/20  | C 4 C 0 6 3 |
| A 6 1 K 31/4152                    |      | A 6 1 K 31/4152 | 4 C 0 6 5   |
| 31/4155                            |      | 31/4155         | 4 C 0 8 6   |
| 31/4178                            |      | 31/4178         |             |
| 31/422                             |      | 31/422          |             |
| 審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 379 頁) 最終頁に続く |      |                 |             |

(21) 出願番号 特願2001-514324(P2001-514324)  
 (86) (22) 出願日 平成12年7月28日 (2000.7.28)  
 (85) 翻訳文提出日 平成14年1月29日 (2002.1.29)  
 (86) 国際出願番号 PCT/US 00/20628  
 (87) 国際公開番号 WO 01/009121  
 (87) 国際公開日 平成13年2月8日 (2001.2.8)  
 (31) 優先権主張番号 60/146, 563  
 (32) 優先日 平成11年7月30日 (1999.7.30)  
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 バスフ アクチエンゲゼルシャフト  
 ドイツ連邦共和国 6700 ルードウイツヒ  
 スハーフェン カール・ポツシユーストラ  
 ーセ 38  
 (72) 発明者 モセト, マリナ・エメ  
 スペイン国, エ-28036・マドリッド、プ  
 ロフェソル・ワスクマン、ヌメロ・8、  
 8・デ  
 (74) 代理人 弁理士 川口 義雄 (外5名)

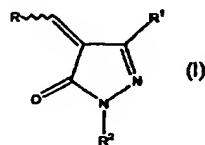
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 2-ピラゾリン-5-オン

## (57) 【要約】

構造式 (I) を有する化学化合物およびその生理学的に許容され得る塩は、セリン/トレオニンおよびチロシンキナーゼ活性の抑制剤である。活性がこれらの化学化合物によって抑制される幾つかのチロシンキナーゼは、血管形成プロセスに関与する。従って、これらの化学化合物は、血管形成または内皮細胞高増殖が要因である病状を改善することができる。これらの化合物を用いて、癌および高増殖性障害を治療することができる。

【化1】



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**